

パキスタン・2000年 北部山岳地域： 高い山並み

インダス川の上流、パキスタンの北部地域は山好きには格好の場所である。東にヒマラヤ山脈の西側を望み、北にカラコルム山脈、西北にヒンズークシ山脈が連なり、世界の屋根を間近に見ることができる。8,000mを越える峰が5つもあり、7,000mを超える峰が数多く存在している。数多い氷河や峠越えのトレッキングコースも多く用意されていて、登山しないでも高峰を望める世界でも珍しい場所といわれている。その中で短期間の滞在で見ることが出来た山の姿をいくつか紹介することにする。



ナンガー・パルパット (8,125m)

インダス川をチラスからギルギットに向かう途中でまず目に飛び込んでくる8,000m級の山である。この奥の中国との国境に世界第二位の高峰であるK-2があるが幾つもの峰を越える登山装備で行かないと見られない。

8,000mの高峰をハイウェイから望めるのは稀である。運良くインダスの川原から山頂まで見ることが出来たが、雲に隠れて山頂を現すのは少ないらしい。

ヒンズークシ山脈の核心部

フンザからフンジュラーフ峠に行く途中でヒンズークシ山脈を望見できる。写真の右手の山は主峰バトゥーラ (7,785m)。この周辺には大きな氷河が数多くトレッカーには人気の場所になっている。



ラカボシ (7,788m)

宿泊したフンザの近くにある高峰で、近くで見えるので、その雄大さに圧倒される。見る角度によってその姿が変化するが、左の写真はフンザ郊外の「鷹ノ巣」と呼ばれている高台から撮ったものだ。「鷹ノ巣」と呼ばれているのは鷹が巣をかまえていたところなのだろう。大きな岩場で周囲の眺めは絶景である。写真の下の流れがインダス川の支流のフンザ川である。そこから上がってきたので、ここも結構の高度になっている。息切れの度合いから3,000mは超えているのかもしれない。

鷹ノ巣からの眺め

この岩場からの眺望は極めて良い。遠くにカラコルムの山々も望むことが出来る。





(写真左) はるか遠くにカラコルムの山並みが続いている。この先はアフガニスタンからタジキスタンにつながっている。どこまでがパキスタンなのか? ここから見ただけでは解らない。

ラカボシのはるか彼方に不思議な形の山容を見つけた。望遠レンズで拡大してみると下の写真の様に尖った岩が林立している。まるで地獄の針の山みたいな格好をしている。

ガイドに名前を聞いてみると、「名前は無い」との答えが帰ってきた。ここでは6,000m以下で

年間を通して冠雪が無い山には名前をつけていないし、地図にも記載されていないらしい。

高い山が連なっているので、それにいちいち名前を付けていられないのだ。「皆さん。勝手に名前を付けています。自分の名前を付けてもいいですよ。ただし地図には載りませんが」ガイドがそう言っていた。

こんな面白い山に名前がないのは勿体無い。日本にあれば必ず洒落た名前がつくだろう。剣山、地獄山、同行者から色々な案が出たが、ひそかにドリアン山とボルネオでいつも賞味している熱帯の果物の名前をつけておいた。



~~~~~

(山の写真) ラカボシに連なる山並み

